

## 令和元年度 いじめの状況について

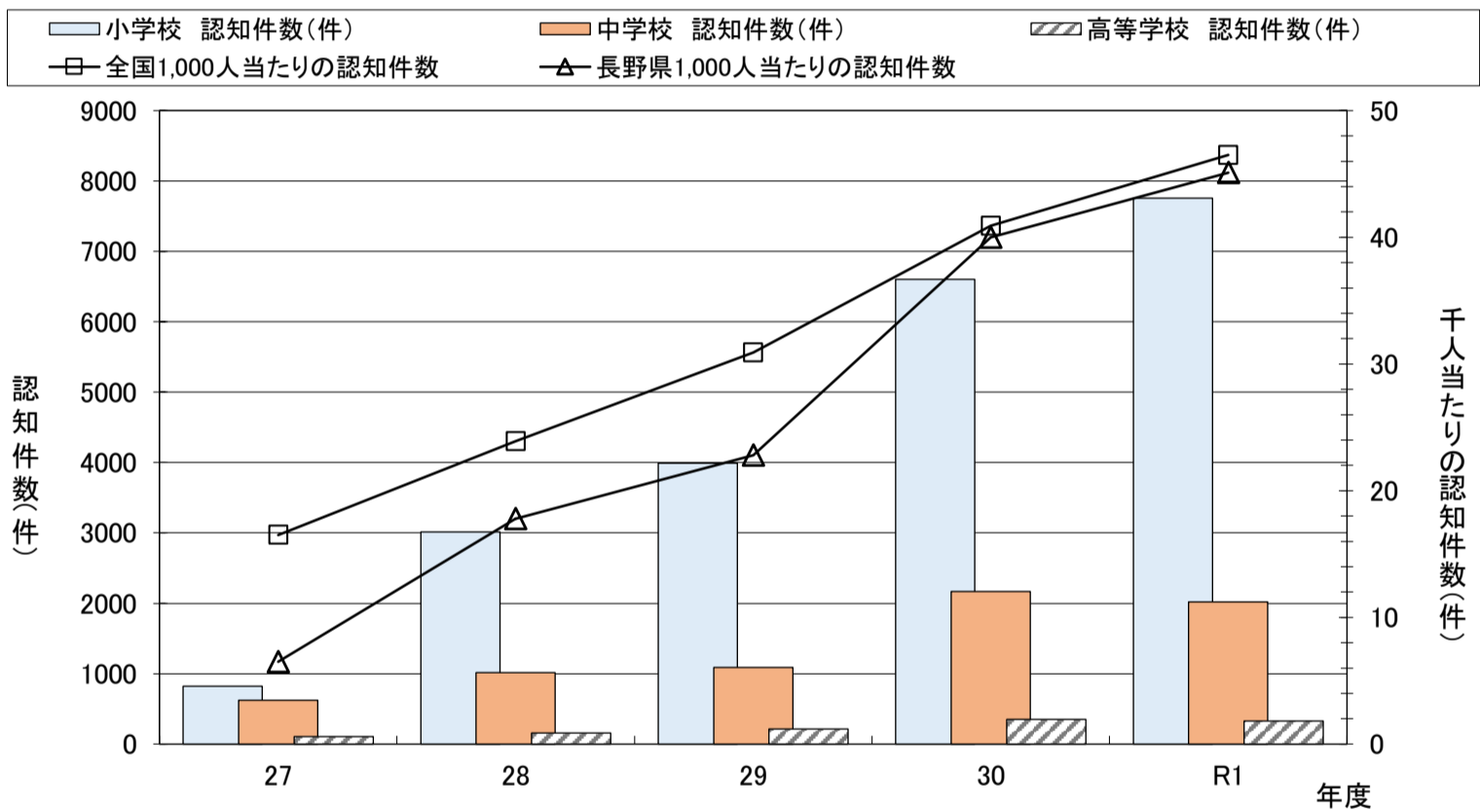
心の支援課

○小・中・高等学校及び特別支援学校におけるいじめの認知件数は、10,198件（前年度9,206件）であり、前年度より992件（10.8%）増加しており、1,000人当たりの認知件数は45.1件である。

○学校種別では、全国と同様に小学校の認知件数が増加している。

○いじめの解消の状況は、解消済みが89.4%と全国値83.2%より高くなっている。これは、早期に発見して解消に向けた取組が行われたため、解消済みの割合が前年度（88.3%）より高くなっているものと考えられる。

### 1 校種別認知件数及び1,000人当たりの認知件数の推移

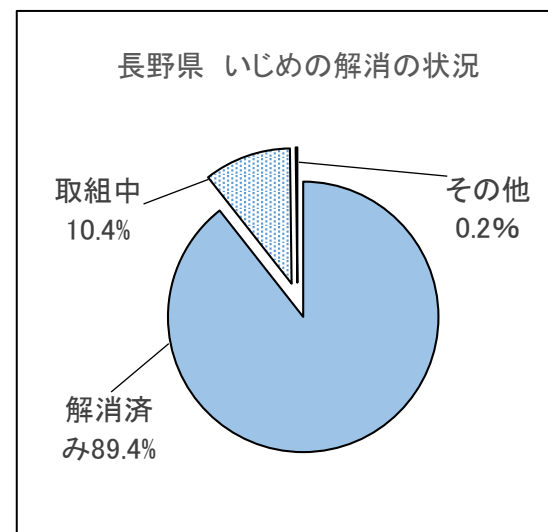


年度		27	28	29	30	R1
小学校	認知件数(件)	823	3,016	3,988	6,603	7,758
	前年度増減(件)	149	2,193	972	2,615	1,155
中学校	認知件数(件)	625	1,017	1,091	2,166	2,020
	前年度増減(件)	▲85	392	74	1,075	▲146
高等学校	認知件数(件)	108	158	214	351	325
	前年度増減(件)	▲30	50	56	137	▲26
特別支援学校	認知件数(件)	11	23	36	86	95
	前年度増減(件)	▲12	12	13	50	9
合計	認知件数(件)	1,567	4,214	5,329	9,206	10,198
	前年度増減(件)	22	2,647	1,115	3,877	992
1,000人当たりの認知件数(件)	県	6.5	17.8	22.8	40.0	45.1
	全国	16.5	23.9	30.9	40.9	46.5

(注) 調査対象校：県内国公立小中高(通信制含む)特別支援学校 713校

## 2 いじめの解消の状況

区分	件数(件)	構成比(%)		
		県	県前年度	全国
解消済み※	9,117	89.4	88.3	83.2
取組中	1,060	10.4	11.4	16.6
その他 (転居等で一定の人間関係が解消)	21	0.2	0.3	0.2
計	10,198	100.0	100.0	100.0



※解消済み

①被害者に対する心理的または物理的な影響を与える行為が止んでいる状態が少なくとも3か月継続。

②被害児童生徒本人及びその保護者に対する面談等により、被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないことが認識できる。

## 3 いじめ発見のきっかけ

[単位: 件、%]

区 分		令和元年度			平成30年度		
		計(件)	構成比		計(件)	構成比	
			県	全国		県	全国
学校の教職員等が発見		5,756	56.4	67.4	4,654	50.6	66.2
内 訳	アンケート調査などの学校の取組により発見	3,397	33.3	54.2	2,711	29.4	52.8
	学級担任が発見	1,945	19.1	10.4	1,505	16.3	10.6
	学級担任以外の教職員が発見	320	3.1	2.2	346	3.8	2.3
	養護教諭が発見	77	0.8	0.3	79	0.9	0.4
	スクールカウンセラー等の外部の相談員が発見	17	0.2	0.2	13	0.1	0.2
学校の教職員以外からの情報による発見		4,442	43.6	32.6	4,552	49.4	33.8
内 訳	本人からの訴え	2,583	25.3	17.6	2,520	27.4	18.3
	本人の保護者からの訴え	1,088	10.7	10.2	1,228	13.3	10.4
	他の児童生徒からの情報	523	5.1	3.4	558	6.1	3.5
	他の保護者からの情報	211	2.1	1.2	189	2.1	1.3
	学校以外の関係機関からの情報	21	0.2	0.1	26	0.3	0.1
	その他(匿名による投書など)	9	0.1	0.1	19	0.2	0.1
	地域の住民からの情報	7	0.1	0.1	12	0.1	0.1
計		10,198	100.0	100.0	9,206	100.0	100.0

(注) 構成比については、各区分における「いじめ認知件数の総数」に対する割合を示す。

## 長野県調査「令和元年度いじめの状況について」

心の支援課

- 公立小・中・高等学校及び特別支援学校におけるいじめ認知件数は9,985件であり、前年度8,995件より990件増加した。また、いじめを認知した学校数は624校で、前年度630校から6校減少した。
- 公立小・中・高等学校及び特別支援学校におけるいじめの態様は、「冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」「軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする」の順に多くなっている。

## 1 公立小・中・高等学校及び特別支援学校はいじめ認知件数

〔単位：件〕

校種 \ 年度	H27	H28	H29	H30	R1
小学校	816	2,999	3,971	6,533	7,697
中学校	619	987	1,078	2,068	1,912
高等学校	90	133	198	309	282
特別支援学校	11	23	36	85	94
合計	1,536	4,142	5,283	8,995	9,985

## 2 いじめの認知校数

〔単位：校〕

校種 \ 年度	H27	H28	H29	H30	R1
小学校	213	284	300	355	351
中学校	132	154	163	183	179
高等学校	48	58	60	82	84
特別支援学校	7	6	8	10	10
計	400	502	531	630	624

## 3 いじめの態様（複数回答）

区 分	小学校	中学校	高等学校	特別 支援学校	計(件)	構成比%	
						県	全国
冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	4,312	1,264	143	38	5,757	57.7	61.9
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	1,790	220	16	32	2,058	20.6	21.6
仲間はずれ、集団による無視をされる。	1,241	240	57	1	1,539	15.4	13.6
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	571	115	17	1	704	7.1	5.6
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたりさせられたりする。	472	103	16	3	594	5.9	8.2
ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	511	42	7	11	571	5.7	5.4
パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる。	51	131	70	10	262	2.6	2.8
金品をたかられる。	48	11	10	0	69	0.7	1.0
その他	229	66	16	9	320	3.2	4.3
計	9,225	2,192	352	105	11,874		

注1) 調査対象：県内公立小・中・高等学校、特別支援学校 669校

注2) 構成比は、各区分における「いじめ認知件数の総数」に対する割合を示す。

注3) 構成比の全国の値は、文部科学省「令和元年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」結果の公立の数値。